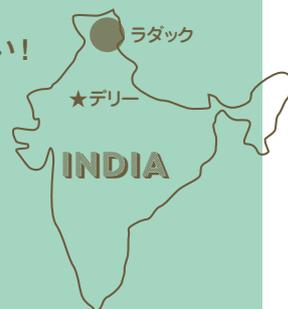


物質的には豊かな日本。でも、どこか寂しさを感じる。そんな経験はありませんか？
標高4000mの場所に首都があり、一年の3分の2が氷点下20℃を超える過酷な地、ラダック。
しかしそこでクラス人々の心は温かく、家族や他人と協力し、たくましく豊かに生きています。

彼らは「苦しみ」をどのように捉え、どのように生きているのでしょうか？
ラダック人を招待してのイベントは日本初！興味のある方、是非ご参加下さい！



1部：13:00～15:00 コンチョック・ワンドウさん

Geshe Konchok Wangdu

仏教中央大学学長

「人は何故苦しむのか」

インド・ラダック地方出身。南インドに再建されたチベット最大の僧院、デブン寺ロセリン大学にて仏教哲学を学び、チベット仏教学の最高学位である「ゲシェ・ラランバ」を取得。その後、ジャンムー・カシミール州のラダック語教本編集に携わり、2010年からラダックの仏教大学CIBS (Central Institute of Buddhist Studies=仏教中央大学)にて教鞭をとる。2015年に同大学学長に就任。ラダックのオピニオンリーダーの一人。

休憩：チャイタイム & ラダックミニマルシェ
(ラダック地方の珍しい物品を並べます♪)

2部：15:30～18:00 スタンジン・ドルジエさん

Stanzin Dorjai

映画監督

「Shepardness of Glaciers」

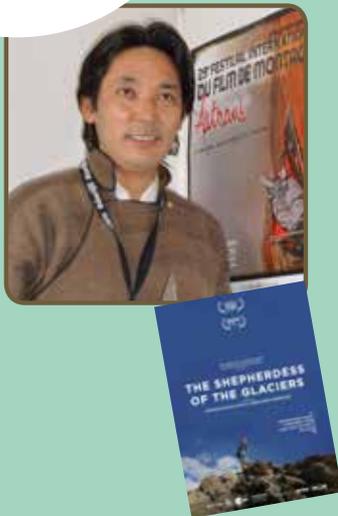
(氷河の羊飼いは70分)

インド・ラダック地方出身。伝統技術と自然エネルギーによる学校運営で知られるNGO「SECMOL」で学んだ経験から、開発、環境、教育問題に関心を持つ。ジャンムー大学芸術学部卒業後、ラダックを題材に様々な映画を製作し続けている。

2016年発表の「The Shepherdess of the Glaciers」では、過酷な自然環境の中たった一人で数百頭の家畜たちと共に生きる自身の姉の物語を描き、アウトドアドキュメンタリー映画祭BANFFマウンテンフィルムでグランプリを受賞するなど国内外で高い評価を得た。

今夏ラダック訪問した
方々による
Mini 報告会もあります！

スピーカー：
ラダックで教育について
発表された藤井さん／
拓殖大ファシリコースグループ／
日大佐渡友ゼミグループ／
ソバツアールグループ
お楽しみに♪



参加費：

3000円 (1部2部通し *チャイ付き)

1500円 (1部か2部のどちらかのみ)

場所：見樹院 (ジュレーラダック事務所)

文京区小石川 3-4-14
東京メトロ後楽園駅もしくは
春日駅から徒歩15分

申し込み：WebページもしくはQRコードから
<http://www.kokuchpro.com/event/11045julayladakh/>



*緊急告知

2017年11月7日(火)に今回のお二人を招いてのイベントを静岡県長泉町「米山梅吉記念館」でも開催いたします。

時間は10:30～15:30(昼休憩1時間あり)です。詳細は「ラダック 三島」で検索ください。

ラダック 三島





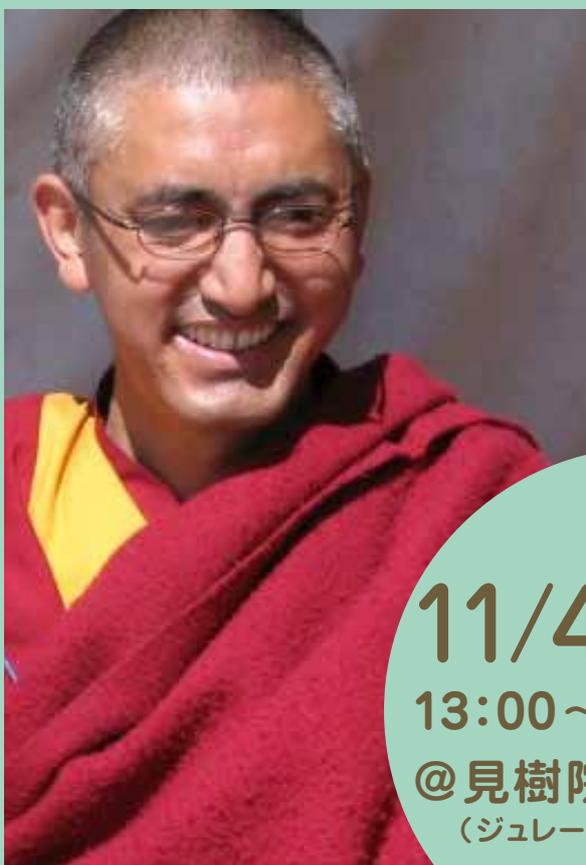
ラダック人に
聞いてみよう!

TALK & MOVIE SHOW

インド・ヒマラヤ山麓



「ラダック」のしあわせな 生き方のヒント



11/4 (土), 5 (日)

13:00 ~ 18:00 (チャイ付)

@見樹院

(ジュレーラダック事務所)

主催: NGOジュレー・ラダック (<http://julayladakh.org/>)

協力: しあわせの経済 世界フォーラム2017(11/11-12 開催)・見樹院・食といのちを考える会

問い合わせ: NGOジュレー・ラダック ☎03-3812-3866 Mail: julayladakh@gmail.com

